

特集
みんなで観戦しよう！！

わたSHIGA輝く障スポ

いよいよ「わた SHIGA 輝く障スポ（第24回全国障害者スポーツ大会）」が滋賀県で開催されます。今月号では障スポについて紹介します。

☎ 国スポ・障スポ総務課 ☎ 30-6141 FAX 23-2660

全国障害者スポーツ大会とは

障害のある選手が競技などを通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、多くの人々の障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加を推進するために、

国スポ終了後に同じ都道府県で毎年開催されている国内最大の障害者スポーツの祭典です。全国47都道府県と20指定都市から選ばれた選手が参加します。



障スポ（正式競技）は10月25日(土)～同27日(月)の3日間！

<彦根市開催競技>

<正式競技>

陸上競技

【日程】10月25日(土)～同27日(月)

【会場】平和堂 HATO スタジアム（松原町）

▶身体障害、知的障害のある選手が出場する競技です。

視覚障害のある選手の競走・競技では、障害の程度により伴走者とともに走ることが認められるほか、車いす使用者を対象とした大豆などを入れた袋の飛距離を競う「ビーンバグ投」など、全国障害者スポーツ大会特有のルールや独自の種目で実施される競技もあります。



ボウリング

【日程】10月25日(土)～同26日(日)

【会場】ラピュタボウル彦根（竹ヶ鼻町）

▶知的障害のある選手が出場する競技です。

ルールは一般のボウリング競技と同じです。



<オープン競技>

SO バドミントン

【日程】10月18日(土)～同19日(日)

【会場】プロシードアリーナ HIKONE（小泉町）

▶知的障害のある選手が出場する競技です。

基本的なルールは一般のバドミントンと同じです。健常者とペアを組むユニファイド競技も実施されます。

※オープン競技…障害者スポーツの普及の観点から有効と認められる競技



障スポ最新情報を
ゲットしよう！

▲わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ
実行委員会 HP

／より詳しい情報がわかる！／

観戦ガイドブック

競技の見どころ
や応援のポイント
などをコンパクト
にまとめています。



プロシードアリーナ HIKONE をご利用の皆様へ

障スポの開催に伴い、10月17日(金)～同19日(日)は「まちなか交流ラウンジ」「トレーニング室」を含む全館の利用ができません。ご理解ください。

☎ プロシードアリーナ HIKONE

☎ 30-9228 FAX 30-9229

スポーツで広がる新たな未来

【陸上競技】^{きしだ きよつぐ}岸田 清次 選手 インタビュー



ジャベリックスロー

ほうがんげ
砲丸投



－プロフィール－



・46歳の時、不慮の事故により
左手指を失う。
・62歳から陸上競技を始め、現
在(74歳)も活躍中。
・障スポでは、「砲丸投」と「ジャ
ベリックスロー(※)」の種目で
滋賀県代表として出場します。

※ジャベリックスロー
やり投げのルールを元に、「ターボジャブ」という用具を使って
飛距離を競う競技

● 陸上競技を始めたきっかけは？

昔から体を動かすことが好きでしたが、直接の
きっかけは62歳の時に滋賀県の大会に出場を勧め
られたことです。

● 続けてきてうれしかったことは？

他県の友達ができたり、家族が応援に来てくれ
たり、いろいろとありますが、中でも、孫が私の試
合に応援に来たことをきっかけに、陸上競技を始
めてくれたことが特にうれしいことです。

頑張っている姿を孫に見せることが、自分の励
みになっています。

● 障スポへの意気込みは？

選手の中で一番年上かもしれませんが、若い選
手たちに負けない、という気持ちを強く持って、ど
んな色でもいいので、ぜひメダルを獲得したいと
考えています。

将来的には、指導者などいろいろな形でスポー
ツに関わり、「生涯現役」でありたいと思っていま
す。若い人たちには、彦根市で障スポが開催される
この機会に、ぜひ一度障害者スポーツの世界に触
れて欲しいと願っています。

平和堂 HATO スタジアム

ラピュタボウル彦根

おもてな SHIGA エリア

10月25日(土)～同27日(月)



「おもてな SHIGA エリア」では、
飲食、物産、グッズ販売などたくさ
んのブースでおもてなし！
◀詳しくはこちら



障スポチャンネル



14の正式競技の全試合を
「障スポチャンネル
(YouTube)」で配信！
◀詳しくはこちら

一人ひとりが主人公、みんなの力で、彦根の魅力を全国に発信

国スポでは、全国から集まったたくさんの選手や大会関係者などに、
観戦ガイドブックや彦根城無料観覧券、記念品などを「資料袋」に入
れて配布し、おもてなしをしました。

この資料袋(全部で約4千枚)への袋詰め作業は、市内4か所の障害
者就労施設の皆さんに行っていただきました。

